

園芸・緑地管理用除草剤

カルナクス®

グリホサートイソプロピルアミン塩…………… 41.0%

種類名／グリホサートイソプロピルアミン塩液剤
 農林水産省登録／第21941号
 毒性／普通物*
 有効年限／5年
 包装／500ml×20、2ℓ×6

特 長

- イネ科、広葉を問わず、一年生雑草から多年生雑草、かん木類にまでほとんどの雑草を非選択的に枯らします。
 各種の雑草が混生している場所でも、1回の散布でほとんどの雑草を枯らすことができますので、極めて効率の良い除草が可能です。
- カルナクスは、莖葉部から吸収されて、根、塊茎、莖頂部に速やかに移行し、枯殺作用を現します。葉や莖に薬液がかかれば、根まで完全に枯らします。
- 根まで完全に枯らしますので、再生することがほとんどなく、雑草の発生を長期間抑えます。
 また、雑草全体が枯れて地面に倒れることにより敷草効果をもたらすので、効果がより一層長続きします。
- カルナクスは、地面に落ちると速やかに土壤粒子に吸着され、植物の根からは吸収されません。また、土壤中では微生物によって分解されますので、散布後、植物を植え付けても悪影響がでることがなく、極めて使いやすい除草剤です。

適用雑草と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10a当り使用量		総使用回数*	使用方法	
				薬量	希釈水量			
果 樹 類 (かんきつ、パイナップルを除く)	—	一年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期： 草丈30cm以下)	250～500ml	通常散布 50～100ℓ 少量散布 25～50ℓ	本剤 3回 グリホサート剤 3回	雑草莖葉 散布	
		多年生雑草		500～1000ml				
かんきつ		一年生雑草		250～500ml		本剤 3回 グリホサート剤 5回		
		多年生雑草		500～1000ml				
豆 類 (種実、但し、だいず、らっかせいを除く)		一年生雑草	は種7日前まで (雑草生育期)	250～500ml		通常散布 50～100ℓ 少量散布 25～50ℓ		本剤 2回 グリホサート剤 2回
は種後出芽前まで (雑草生育期： 草丈30cm以下)			本剤 2回 グリホサート剤 4回					
畦間処理： 雑草生育期 (草丈30cm以下) 但し、収穫前日まで								本剤 1回 グリホサート剤 3回
は種7日前まで (雑草生育期)								
だ い ず								
えだまめ								

(つづく)

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10a当り使用量		総使用回数*	使用方法
				薬量	希釈水量		
小麦	—	多年生イネ科雑草	耕起前又はは種前まで (雑草生育期: 草丈30cm以下)	250～1000mℓ	25～100ℓ	本剤 3回 グリホサート剤 3回	雑草茎葉 散布
		一年生雑草	は種後出芽前 (雑草生育期)	250～500mℓ			
		多年生雑草	耕起7日前まで (雑草生育期: 草丈30cm以下)	500～1000mℓ	100ℓ	本剤 1回 グリホサート剤 3回	
麦類 (小麦を除く)	圃場内の 周縁部	一年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期)	250mℓ	25～100ℓ	本剤 3回 グリホサート剤 3回	
			耕起7日前まで (雑草生育期)	250～500mℓ	100ℓ	本剤 1回 グリホサート剤 3回	
は種後出芽前 (雑草生育期)			25～100ℓ		100ℓ	本剤 1回 グリホサート剤 2回	
かんしょ			耕起又は挿苗 7日前まで (雑草生育期)	250～500mℓ			
だいこん			耕起又は は種7日前まで (雑草生育期)				
はつかだいこん			耕起又はは種 7日前まで (雑草生育期)	250～500mℓ	通常散布 50～100ℓ 少量散布 25～50ℓ	本剤 3回 グリホサート剤 3回	
キャベツ							
野菜類 (えだまめ、キャベツ、はつかだいこん、だいこん、とうがらし類、にんじん、ピーマン、ねぎ、たまねぎ、アスパラガス、オリーブ(葉)、きゅうり、しゃくやく(薬用)、たらんぎ、トマト、なす、びわ(葉)、ほうれんそう、レタス、薬用にんじんを除く)			定植後畦間処理 但し、収穫30日前 まで(雑草生育期)	250～500mℓ	通常散布 50～100ℓ 少量散布 25～50ℓ	本剤 1回 グリホサート剤 2回	
ねぎ たまねぎ			耕起又は 定植7日前まで (雑草生育期)				本剤 1回 グリホサート剤 3回
とうがらし類 にんじん ピーマン	耕起又は 定植7日前まで (雑草生育期)	250～500mℓ	通常散布 50～100ℓ 少量散布 25～50ℓ	本剤 1回 グリホサート剤 2回			
アスパラガス オリーブ(葉) きゅうり しゃくやく(薬用) たらんぎ トマト なす びわ(葉) ほうれんそう レタス							

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10a当り使用量		総使用回数*	使用方法
				薬量	希釈水量		
薬用いんじん	—	一年生雑草	耕起又は定植7日前まで(雑草生育期)	250～500mℓ	通常散布50～100ℓ 少量散布25～50ℓ	本剤 1回 グリホサート剤10回 (1年間に2回)	
水田作物(水稲を除く)			耕起20～10日前(雑草生育期)		100ℓ		
移植水稲		多年生雑草	湛水前30～5日前(雑草生育期)(不耕起栽培)	500～1000mℓ	50ℓ	本剤 1回 グリホサート剤 2回	
			一年生雑草	耕起20～10日前(雑草生育期)	250～500mℓ		
耕起直後～出芽前(雑草生育期)(乾田耕起栽培)		250～1000mℓ		25～50ℓ			
多年生雑草		500mℓ		50ℓ			
一年生雑草		250～1000mℓ		25～50ℓ			
多年生雑草		は種30日前～出芽前(雑草生育期)(乾田不耕起栽培)	250～1000mℓ	25～50ℓ	500mℓ	50ℓ	
		水田作物(水田刈跡)	水田刈跡	一年生雑草			
水田作物(水田畦畔)		水田畦畔		一年生雑草	250～500mℓ	通常散布100ℓ 少量散布25ℓ	
水田作物畑作物(休耕田)	休耕田		一年生雑草	250～500mℓ	通常散布50～100ℓ 少量散布25～50ℓ		本剤 1回 グリホサート剤 6回
さとうきび(春植え)		—	多年生雑草	500～1000mℓ		少量散布25～50ℓ	
茶	一年生雑草		摘採7日前まで(雑草生育期)	250～500mℓ	通常散布50～100ℓ 少量散布25～50ℓ		本剤 4回 グリホサート剤 4回
樹木類		雑草生育期	更新・造成の10日前まで(雑草生育期)	500～1000mℓ		50ℓ	
牧草	牧野、草地(更新・造成)		一年生及び多年生雑草	250～500mℓ	少量散布25～50ℓ		
		一年生雑草	500mℓ	通常散布100ℓ 少量散布25ℓ		本剤 3回 グリホサート剤 3回	
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面、鉄道等	一年生雑草	500mℓ		通常散布100ℓ 少量散布25ℓ		本剤 3回 グリホサート剤 3回
		多年生雑草	1000mℓ				
	スギナ	生育盛期	2000mℓ	少量散布25～50ℓ	植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布		

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10a当り使用量		総使用回数*	使用方法
				薬量	希釈水量		
林 木	造林地 (地ごしらえ)	ススキ、ササ類、クズ等の多年生雑草、落葉雑かん木	生育盛期以降	1000ml	20～30ℓ	本剤 3回 グリホサート剤 3回	雑草木 茎葉散布

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	希釈倍数	使用液量	総使用回数*	使用方法
林 木	林地	クズ	春期又は 秋期	原液又は 2倍液	1～2ml/株	本剤 グリホサート剤 -	株頭注入 処理
		落葉 雑かん木	5～10月		1ml/ヶ所 樹径 ヶ所数 10cm以下 2～3 10～20cm 4～8 20cm以上 10		立木注入 処理
樹 木 等	公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面、鉄道等	雑かん木	伐採直後		切り口全体に 十分量を塗布		植栽地を除く 樹木等の 周辺地に切 株塗布処理
		林 木 畑 作物	林地、放置 竹林、 畑地		竹類		夏～秋期

使用にあたって

■使用上の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤はグリホサートを含む農薬であるので、他のグリホサートを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
- 泥などで濁った水は効果を低下させるので、本剤の調製には用いないでください。
- 展着剤の加用の必要はありません。
- 本剤は土壤中で速やかに不活性化するので、雑草の発生前処理効果はありません。
- 本剤は散布時の雑草の草丈や茎葉面積が大きい程、効果が確実となるので、散布前に雑草の地上部を刈り払わないでください。
- 本剤は通常2～14日で効果が発現し、効果完成までさらに日数を要するので、誤って再散布しないでください。
- スギナ防除に際しては、スギナの生育期を過ぎた時期での散布およびスギナが他雑草の中に埋没しているような条件では効果が劣る事があるので、適期にスギナにかかるように注意して散布してください。
- 処理後6時間以内の降雨は効果を低下させることがあるので、天候をよく見極めてから散布してください。
- 少量散布の場合は、少量散布用ノズルを用いて、雑草の葉面に均一に散布してください。
- 注入処理における注意事項
 - ①クズには株頭にナタなどで傷をつけ、薬液がよくしみこむように注入処理してください。
 - ②落葉雑かん木には、樹幹の回りに等間隔にナタ目を入れ、薬液を注入処理してください。
 - ③処理竹から15m以内に発生したたけのこを食用に供さないでください。また、縄囲いや立て札によりたけのこが採取されないようにしてください。
- 雑かん木に塗布処理を行う場合は、伐採後、直ちに切り口全面に直接塗布してください。
- 散布液の調製に際しては、合成樹脂の内層のない鋼鉄製（ステンレスを除く）の容器類は使用しないでください。なお散布液を調製した容器および散布器具は、使用后十分に水洗いしてください。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

- 土壌が流亡したり、くずれたりするおそれのある所では使用しないでください。
- 公園、堤とう等で使用する場合、特に以下のことに注意してください。
 - ①水源池、養殖池等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。
 - ②散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、空容器、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合には、使用者の責任において、事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■薬害

- 水田への飛散、流入等により水稻に薬害を生じるので、十分注意してください。
- 出芽前に使用する場合は、作物の出芽後に散布すると薬害を生じるおそれがあるので、必ず出芽前に散布してください。
- 特に生育期畦間散布に使用する場合には、作物にかからないよう十分注意して散布してください。
- 農作物や有用植物に薬液が付着すると、激しい薬害が生じるので、かからないように十分注意してください。

■水産動植物への注意

- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養殖池等周辺での使用はさけてください。
- 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。

■安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。



- 使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は、手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、使用中および使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係ない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。

■貯蔵上の注意

- 密栓し、直射日光をさけ、なるべく低温な場所に保管してください。

本資料の記載内容は2024年7月25日現在の登録内容に基づいています。